

患者さんへ

心房細動アブレーションにおける

鼠径仮性動脈瘤のリスクファクターとその予後の評価

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2016 年 1 月より 2022 年 3 月までに当院で心房細動 (Atrial fibrillation: AF) アブレーション手術を受けられた患者さん
2 研究目的・方法	AF アブレーション後の患者さんを対象として鼠径仮性動脈瘤が発生した患者背景について比較検討します。鼠径仮性動脈瘤とは術後穿刺した動脈の部位より出血が継続し瘤状に膨らむ状態を指します。 この研究により鼠径仮性動脈瘤の危険因子を解明することを目的としています。 また、鼠径仮性動脈瘤が発生した患者さんの入院日数、AF の再発率を比較検討し仮性瘤の術後の予後に関して検討します。 研究の期間: 施設院長許可後～2024 年 3 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5 お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、体重、身長、病歴、鼠径仮性動脈瘤発現の有無、入院期間、仮性瘤の治療法、術後 1 年での心房細動発生の有無、鼠径部血管エコーの画像 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 小山 右文 湘南鎌倉総合病院 循環器内科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号: 0467-46-1717

2024 年 1 月 17 日作成 (第 1.2 版)